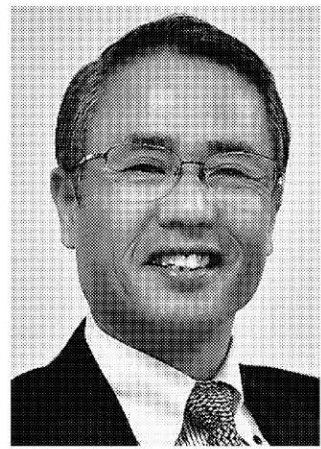


教育が「最大の国防」である意味

正論



麗澤大学特別教授
元空将
織田 邦男

昭和21年6月、第90回帝国議会で日本国憲法に關し、次のような質疑があった。「侵略された国が自国を護る為の戦争は、我々は正しい戦争と言つて差支へないと思つ。(略)戦争一般放棄と云ふ形でなしに、我々は之を侵略戦争の放棄、斯うするのがもつと的確ではないか」

戦つ意思も重要な要素

この前日、吉田茂首相は「第九條第二項において一切の軍備と國の交戦権を認めない結果、自衛権の発動としての戦争も、また交戦権も放棄したのであります」と答弁している。質問に立った代議士は、実は日本共産党の野坂参三氏である。今の主張と真逆である。昔の共産党は「正論」も述べていたのだ。

現在、ウクライナはロシアの侵略に対し、自らの国は自らで守るといふ「正しい戦争」を戦つていゝる。だからこそ国際社会は、軍事支援を続けている。2014年、ウクライナはロシアによるクリミア半島の無血併合を許した。ドンバス地方での防衛戦も不甲斐な

った。この時、国際社会の経済制裁、軍事支援は名ばかりだった。気になる世論調査結果(World Values Survey 2021年1月)がある。「もし戦争が起こつたら、國のために戦うか」の問いに「はい」と答えたのは、日本は13・2%で世界79カ國中、断然最下位だった。その次のリトアニアでも32%を超す。中国88・5%、韓国67・4%、平均が約60%である。

防衛力が不十分と相手は認識すれば、戦争は抑止できない。装備だけではない。戦つ意思も防衛力の重要な要素である。日本が戦争放棄を唱えても、ミサイルやドローンが容赦なく飛んでくる。逃げる場所もないとき、「13・2%」以外の人は、どうするつもりだろう。「13・2%」では日本有事の際、国際社会の支援どころか、日米同盟も機能しないだろう。同盟とはいえ日本に血を流す覚悟がな

ければ米國も助けるわけがない。自衛官の高い使命感 他方、自衛官の質的レベルは高い。他國と共同訓練をやつても一置かれる存在だ。災害派遣でも大活躍だ。「いざという時はやはり自衛隊」と、今や最も信頼される組織となっている。では自衛官の高い使命感と「13・2%」のギャップはどう解釈すればいいのだろうか。「軍」や「戦争」を忌避する風潮や教育の影響が大きい。戦後教育は、國家は悪

であり敵対する存在とする偏ったイデオロギー色の強い教育がなされてきた。國家や權威を否定し、「個」や「私」を何より優先させた。思想、信条を押し付けられない美名のもと、教育現場で國旗、國歌を否定するといふ異常な教育が長年続けられてきた。國旗國歌法ができ、教育基本法が改正され、少しは改善された。だが教育現場はあまり変わっていないと聞く。そういう教育で育つた若者でも、自衛隊で教育を受ければ素晴らしい若者に変身する。

自衛隊には特別な人が入隊するからと言つた人がいる。これは誤解である。自衛隊には平均的な若者が入つてくる。君が代が歌えない、礼儀を知らない、挨拶ができない、満足な言葉遣いもできない若者も多い。だが自衛隊の教育を受ければ、親も驚くほど変身する。もちろん不祥事を起こす不心得者もいる。しかし一般社会と比較すれば格段に少ない。防衛大学校でも将来自衛官になる明確な目標を持つて入校する学生は2割にも満たない。だが「軍人になる前に眞の紳士、淑女たれ」との教育を受けると、卒業時には約8割が自衛官に任官する。

「公」の復活を期待する 自衛隊の教育を一言で言うたら「公」の復活である。入隊したら先ず、宣誓をする。「事に臨んでは危険を顧みず……」と。「個」や「私」の優先から、「転して」公」を第一とする価値観への転換である。教育、訓練、そして実践を通じ、人に尽くす喜び、國家に尽くす生きがいを感じずれば、みるみる眼が輝いてくる。

人間は本来、世の為、人の為、「公」に尽くすことを喜びとするDNAを持っている。「あらゆる人間愛の中でも、最も重要で最も大きな喜びを与えてくれるのは祖國に対する愛である」と歴史家キケロも語る。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」と聖書にもある。このDNAを発芽させ、「人は人に生かされ、人は人のために生きる」ことを実感した時、眞の紳士、淑女に変身する。このような普遍的価値観にはあえて目を伏せ、枝葉末節のみ教育してきたのが戦後教育であり、その結果が「13・2%」なのだ。 中国共産党大会で習近平氏の異例の3期大統領が決まった。主要ポストはイエスマンで占められ独裁体制が完成した。習氏は台湾統一を強調し、武力行使を否定しなかった。台湾有事は日本有事である。「防衛力の抜本的強化」を急がねばならない。だが教育も忘れてはならない。トマス・シェファーンは言う。「最大の国防は良く教育された市民である」と。(おりた くにお)